

# 八戸市長3年目 「公約8割達成」

## 市民委が評価

八戸市の政策を審議する市総合計画等推進市民委員会（委員長・堤静子八戸学院大学特任教授）は1日、熊谷雄一市長が掲げた政策公約の任期3年目の達成状況をまとめた評価書を熊谷市長に提出した。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、市の各施策も取り組みが本格化したとし「政策公約は約8割が達成されており、積み重ねてきた取り組みの成果が広く表れているとともに、全ての政策公約達成に向けて取り組みが加速度的に進められている」と総括した。

熊谷市長④に評価書を手渡す堤委員長



「対話を重視する取り組みの充実、熊谷カラーの施策が徐々に浸透している表れ」と評価。一方、市の施策について「発信方法を工夫するなど浸透を図る必要がある。検討段階で、業

界や市民ニーズを的確に捉えた上での制度設計を」と求めた。

市民委は、2023年8月～24年7月を評価対象期間に設定。21年10月の市長選で熊谷市長が掲げた9政策と、その実現に向けた44の重点施策を評価した。

重点施策の3年目の評価結果は「達成できている」が36（1年目は17）、「一部達成できている」が8（1年目は28、2年目は25）、「達成できていない」は0（1年目は7、2年目は2）と分類した。

堤委員長は「8割方達成されている。残る任期1年余り、しっかり進めて取り組みをすすめていきたい」と述べた。熊谷市長は「2割はまだできていない。100%達成するよう努めていく。引き続き指導と指摘を」と語った。市は評価書を新年度の予算編成や施策に反映させる。

（岡田圭逸）